

事業所名称	法人本部	定員	
サービス種別	法人事務局		
サービスの特色・方針	理事会・評議員会を運営します。 会計・労務等、各事業所に共通する事務機能を担います。 各事業所を横につなげることで法人の機能を高めます。		
社会福祉への取り組み	「認知症にやさしい地域を創る会」への参加、運営事務		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
ご利用者	■感染症への対応 ○正確な情報を収集し、予見可能なリスクを適切にコントロールする。	○利用者にとって必要なサービス提供の維持
財務	■事業展開に伴う計画管理 ○各事業所の短中期的な資金繰りの管理 ■感染症による事業環境変化への対応 ○必要に応じ各種助成金を活用	
業務	■グループホームの開設準備 ○開業に向けての進行管理 ■各事業所のICT化の支援 ○ICT化を推進するための基盤整備を行なう。	○令和3年4月開業 ○介護支援システム更新 導入時期 10月 ○全施設内をセキュアなネットワークで連結 実施時期 8月
人材	■将来を見通した就労環境の整備（継続） ○顧問社会保険労務士の助言を得ながら、深刻化する人材不足に対応した就労環境づくりを行なう。	○就業規則・給与規程の改正 職員説明 8月 施行 10月

事業所名称	特別養護老人ホーム 紫雲の園	定員	入 所 90名 短期入所 9名
サービス種別	介護老人福祉施設 (介護予防)短期入所生活介護		
サービスの特色・方針	法人理念である「大慈愛心」を実践するため、困難な事例においても積極的に関わりを持ち続けることが、ご利用者の満足、地域社会の満足、職員の満足に加え、法人の永続性の確保や将来世代の満足に繋がるという信念を持ち、職員 1 人 1 人の専門性の強化や施設内のチーム力の向上に努めていきます。		
社会福祉への取り組み	比較的安価な自己負担額で利用できる従来型多床室である事が、地域においては大きな福祉財産であるという事を自覚し、法人減免の活用促進や生活困窮者の受け入れを積極的に行ってまいります。		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	地域や家族との関りを深めるために、慰問の受け入れ、外部イベントへの参加、外出の機会を増やす。	3ヶ月に1回以上の慰問の受け入れ、2ヶ月に1回以上の外部イベント参加、または外出が実施出来ていること。
財務	質の高い福祉サービスを永続的に提供し続けるために、高水準なサービス利用率の維持を目指す。	【利用率目標】 入所：必達目標 98% 短期：必達目標 70%
業務	職場内での情報共有や、外部への情報発信を活発に行うために、施設全体でICT技術を活用する。	年度末までに、新しい介護記録ソフトが導入され、施設内の記録が全て電子化されていること。
人材	福祉サービスの従事者として求められる人格を形成するために、「人間力を高める」分野の研修を積極的に受講する。	法人内研修への参加率が60%以上で、なおかつ常勤職員全員が年間1回以上外部研修へ参加していること。

事業所名称	浅羽デイサービスセンター	定員	通所介護・現行相当 50名 通所型サービスA 15名
サービス種別	通所介護（第一号通所事業を含む）		
サービスの特色・方針	<p>多数の有資格者を配置し、安心・安全にサービスをご利用いただけます。</p> <p>入浴方法は一般浴・個浴、中間浴、機械浴があり、その方に合った入浴方法で対応します。レクリエーションは、身近な器具を使って体操をする機能訓練、ゲーム等で楽しみながら体を動かす遊びリレーションとグループに分かれて活動をしています。おやつ作りや調理、制作、野菜作りなどの他に、ボランティアの方による書道や詩吟、絵手紙、フラワーアレンジメントなども行なっています。1ヶ月に3団体以上のボランティアの方が歌や踊りなどを披露してくださり、ご利用者の楽しみにもなっています。</p> <p>機能訓練指導員による機能訓練を実施し、希望者にはマシンを使用したパワーリハビリも行っています。</p> <p>ご利用者が住みなれた家であるべく長く過ごせるように、職員が一丸となり自立支援に取り組んでいます。</p>		
社会福祉への取り組み	社会福祉法人利用者負担減免制度があります。		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
ご利用者	<p>■ <u>アンケートを作成し、全ご利用者様に配布、集計する事により、ご利用者のニーズを把握する。</u></p>	<p>○アンケート作成 5月～</p> <p>○印刷、配布準備 11月</p> <p>○アンケート配布 12月</p> <p>○回収 12月末</p> <p>○集計 1月</p>
財務	<p>■ <u>稼働率 90%（利用者 41名/日）を達成する</u></p> <p>○営業活動の継続。</p> <p>○ホームページを毎月更新し、内容を充実させる。</p> <p>○リーフレット作成、配布</p> <p>■ <u>1人当たりの報酬単価を上げる。</u></p> <p>○加算の算定。</p>	<p>○月間稼働率 [目標値] 90%</p> <p>○居宅支援事業所へ営業訪問 2回/月</p> <p>○ホームページ更新 1回/月</p> <p>○利用者一人当たり 8,800円/日</p>

業務	<p>■<u>事例、ヒヤリ・ハット報告書を基にリスクマネジメントを行う。</u></p> <p>○ヒヤリ・ハット報告啓発活動。</p>	<p>○会議の場を設け、予防策を立てる。</p> <p>会議 1回/月</p>
人材	<p>■<u>接遇をテーマにQC活動を行う。</u></p> <p>■研修参加</p> <p>○内部研修</p> <p>○外部研修への参加、研修報告会</p>	<p>○テーマを決定 7月</p> <p>取り組み 8月～10月</p> <p>11月～1月</p> <p>評価、反省 2月</p> <p>○1人につき1講座以上の参加。</p>

事業所名称	浅羽ケアマネジメントセンター	職員数	5名
サービス種別	居宅介護支援事業所		
サービスの特色・方針	特色：利用者の生活を良く理解し、敬意を持って支援します。 方針：法人理念のもと、利用者の自立支援に向けて何が重要・必要なのかを最優先し協働参加し利用者の最終決定を支援していく。		
社会福祉への取り組み	○社会福祉法人として地域の皆様との信頼関係を構築していく ○介護が必要になっても、安心して住める地域作りの推進		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
利用者	■適切なマネジメントの実施 ○利用者の尊厳を守る対応ができる ○利用者らしい生活を取り戻せるように働きかける。 ○利用者の生活をよく理解し、個別の計画を共に創る ○家族全体を見ることができ地域支援の視点を持って関わることができる。	○サービス提供にあたっては、親切丁寧に行うことを旨として提供方法について理解しやすいように説明する ○利用者の理解を深める ○利用者の強み・弱みをきちんと見極める ○必要な社会資源との関係を構築あるいは調整する
財務	■選ばれる事業所となる ○介護支援専門員の基本倫理を守る ○利用者・家族との信頼関係の構築 ○法人内外の事業所との連携を図る	R1年度給付管理件数目標：165件 ○今年度給付管理数 月：165件（介護給付のみ）
業務	■利用者の生活を良く理解し個別の計画を共に考えて創り支援を必要とする人の存在を認め適切な対応ができる ○利用者自身の理解を深める ○生活課題の問題解決の緩和 ○利用者だけではなくその周りに暮らす人々の生活も視野に入れた支援	○利用者の生活を良く理解して、個別の計画を一緒に考え共に作成し適切な対応ができる ○アセスメント能力向上を目指す ○多職種との連携ができ、チームアプローチができる。 ○地域に在る資源や機関と連携を図る
人材	■働きやすい環境作りをし、多職種と連携した活動が地域でできる人材になる ○共に悩み、考え協働できる体制を創る。 ○多職種と連携をはかることで利用者に福利を提供する ○相談援助者として自分自身をよく知る	○課題解決や生活問題の緩和のため専門的知識や技能を磨く ○上下関係ではなくバックアップする体制を創る ○チームアプローチができる ○物事に対する認識の仕方・感じ方・考え方は人それぞれ異なることに気づき、自身の自己覚知に繋げる

事業所名称	浅羽地域包括支援センター	職員数	6名
サービス種別	地域包括支援センター		
サービスの特色・方針	地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援していきます。センターでは、保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャーの3職種が、それぞれの専門性を活かし連携し業務を行っています。地域に暮らす住民の困り事等においては、様々な機関と連携し、又地域のネットワークを駆使して解決に努めます。		
社会福祉への取り組み	介護予防、日常生活への支援体制構築に努めます。又、地域に出向き活動に参加し住民の声を聞き取り、声が形になるよう取り組みます。		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	■地域アセスメントへの取組 ○シニアクラブ・サロン等へ出向き住民の意見を聞き取る。	地域アセスメントから出た住民の声を、地域のコミュニティセンターにおける「まちづくり協議会」に発信していく。 各自治会においての関係者（民生委員）等にそこに暮らす人たちの声をつなげる。
財務	■限られた財源の中で、計画的に活用 ○ケアプラン作成において、各自負担増にならないよう取り組む。	計画的運用を目指す。 予防プラン作成が、専従業務に支障をきたさないよう、委託事業所の見直しをする。
業務	■市から示された重点取組事項の推進 1) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進 2) 在宅医療・介護連携の推進 3) 地域ケア会議の推進	1) 住民を対象としたフォーラムを年2回開催し、支えあい大切さ、支えあえる地域作りを啓発していきます。(今年度開催地区 浅羽南、浅羽西地区) 現在住民が取り組んでいる生活支援（有償ボランティアによる助け合い活動）の普及・啓発をして、担い手の育成に取り組めます。 2) 在宅医・薬局等を含めた担当者会議の開催に向け取り組む。 在宅医療・介護等多職種連携強化のためのネットワークの構築に取り組む。 3) 各地区の民生・児童委員等と、地域包括支援ネットワーク構築に向け、連携会議を地区毎に年1回以上開催する。

	4) 認知症施策の推進	4) 認知症サポーター養成研修開催に向け未実施自治会へ開催できるよう取り組む。又、キャラバンメイトと連携を密にして、認知症予防を含め地域への活動に取り組む。オレンジカフェの開催場所を増やす。
人材	■ <u>専門性を活かして、包括職員としての任務の遂行する。</u>	積極的に必要な研修に参加し、専門性を築いていくように努めます。又、それぞれの専門性を活かしながら、案件に対応できるように職員間の連携に努めます。

事業所名称	ひなた	登録定員	29名
サービス種別	小規模多機能型居宅介護（介護予防含む）		
サービスの特色・方針	<p>利用者が在宅での生活を継続・維持できるように、また、ご家族が在宅での介護を継続・維持できるように「通い」「泊まり」「訪問」のサービスを組み合わせて臨機応変に対応・援助して行く。</p> <p>そのために、利用者ご本人、ご家族と相談を密にし、寄り添う介護を実践する。</p>		
社会福祉への取り組み	<p>①利用者の生活地域での溶け込み援助 ②緊急受け入れと入所までのつなぎ ③はいかい SOS 協力事業所 ④認知症に関する学習や啓発（認知症にやさしい地域を創る会）</p>		

今年度の挑戦（令和2年度）		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
ご利用者	<input type="checkbox"/> 個別アクティビティーや個別ケアを充実させ、一人一人に合った活動を増やすことで、利用者個々の満足度向上を目指す。	<input type="checkbox"/> 個別アクティビティーのプラン作りと実施。 <input type="checkbox"/> ケース担当者の役割を明確化し、職員が一体となってプランに携わり、アセスメントの機会を増加させる。 <input type="checkbox"/> 希望や要望を訴え難い方、表現出来ない方にも積極的に関わりを増やし、満足度向上の為の情報収集を計る。
財務	<input type="checkbox"/> 毎月の目標売上のクリア 安定した事業運営 <input type="checkbox"/> ひなたの名前と活動を地域へ PR する。	<input type="checkbox"/> 月間売上570万円を目指す。 <input type="checkbox"/> 地域向けのパンフレット作りと配布 <input type="checkbox"/> HP やブログでの活動報告、情報発信 <input type="checkbox"/> 地域との関わりを増やすための活動作り。 文化祭や豆まき会など、地域と協働した行事の計画、実施

<p style="text-align: center;">業 務</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 情報共有を密にする為のカンファやミーティングの実施 <input type="checkbox"/> 事故・事例・ヒヤリを活かしたリスクマネジメント対応 <input type="checkbox"/> 防災対応の充実 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> カンファやミーティング、担当者会議等の実施回数 UP <input type="checkbox"/> 委員会の設置と再発防止策の検討 毎月の会議での情報発信 同じような事故、事例が再発しない <input type="checkbox"/> 分かりやすく、実践的な防災マニュアルの作成と見直し <input type="checkbox"/> 防災用品の整備 <input type="checkbox"/> 防災訓練の実施機会を増やす
<p style="text-align: center;">人 材</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 挨拶に笑顔をプラスし、明るく気持ち良く働ける職場作り <input type="checkbox"/> 次に行なう人が気持ち良く業務出来るような、気遣いとマナー <input type="checkbox"/> 自責で行動出来る人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ニコリホットや誉めようキャンペーンの実施。評価の見える化と職員間での啓発活動 お互いの良い所を見つける意識作り <input type="checkbox"/> 職員間のコミュニケーション増進の為の機会作り 承認マネジメントや勉強会の実施 会話や対話の増加

事業所名称	ルンビニ保育園	定員	90名
施設区分	保育所		
保育の特色・方針	ルンビニ保育園は、「健やかな心」を育てるために、お釈迦様の教え、『 仏教 』を基本理念として保育します。 園名の由来にもあるとおり、ルンビニ保育園は仏教保育をする保育園として創設されており、その保育目標を以下の3つとします <生命尊重> (1) めぐみの心を持ち、生命を尊重する子に育てる。 <修善> (2) 善悪をみきわめ、絶えず正しい方に進む子に育てる。 <協調> (3) 自分の立場を考え、他と協調できる子に育てる。		
社会福祉への取り組み	在園中の子育て家庭に限らず、地域の子育て家庭に向けても情報の発信に努めます。		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（KPI）
利用者	■保育の標準化 ○子どもを中心においた保育を模索し、どの職員も同じ対応ができるよう標準化を目指します。 ○子どもの育つ力を後押しします。	
財務	■こまめな節約を心掛けます ○入所可能児童数が定員数とほぼ同数であるため、児童の安全面に配慮しつつその他の部分で節約に務めます	令和元年度の県による指導監査で、保育室の有効面積が足りていない事を指摘され、定員数を受け入れできるよう設備整備を計画し進める。
業務	■ホームページの作成と活用 ○園の情報発信 ○利用希望者の増加 ○就職を検討する学生へのアピール ■仏教保育について園内研修の充実 ○新入職者も多くなり、既存職員に対しても新たためて仏教保育について周知する研修を充実させる。	○公開されたホームページの内容の充実を図り保育の理解促進につなげる。
人材	■職員のスキルアップ ○保育士のキャリアアップ制度が本格始動し、各種外部研修の受講が事実上義務化されました。これまで以上に参加しやすい人員配置を計ります。	○例年に無いほど求職者が訪れ、『子ども園移行』には1年早いですが、保育理念、保育目標共有のため事前雇用をする。

事業所名称	ルンビニ第二保育園	定員	90名
施設・事業所類型	保育所		
保育の理念と方針	<p>・仏教を基本理念とし、子ども一人一人を大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指しています。又、《感謝の気持ち》を育て「ありがとう」が言える心豊かな人間性を持った子どもに育成します。</p> <p>乳幼児期は生涯にわたる人間形成の基礎を培う最も重要な時期です。保育の専門性を活かし乳幼児期を安全に保護育成していきます。又、乳幼児期に身につけなければならない基本的な生活習慣や必要な知識の芽生えを促すため豊かな体験と環境を設定しています。豊かな体験を通して子ども同士のつながりを深める中で保育、幼児教育がめざす人間形成の基礎(学びの土台・育みたい「10の姿」)を育てる為に子どもの主体性を大切に保育や環境を整えていきます。</p>		
保育の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・自園給食と食育 ・年齢別保育と異年齢保育の融合 ・体育指導、音楽指導、英語教室、茶道 		
社会福祉への取り組み	<p>地域子育て支援拠点事業の経営</p> <p>一時預かり保育事業の経営</p> <p>相談窓口の開設</p> <p>地域活動への参加と情報発信</p>		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
運営と業務	<p>■<u>広報活動の強化と運営の充実</u></p> <p>○地域活動への参加</p> <p>○<u>ルンビニしんぶん、ホームページ</u></p> <p>■<u>保育の標準化</u></p> <p>■<u>保育環境の充実</u></p> <p>○安全かつ主体的保育環境を研修する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般業務の ICT 化を促進する ・多くの人に知ってもらい選ばれる保育園を目指す。 ・標準的保育を文書化する
経営（財務）	<p>■<u>建物、備品等のメンテナンスと修繕</u></p> <p>■<u>定員充足率は120%を目標とする</u></p> <p>○0, 1, 2 歳児の待機児童の多い状況を踏まえ、職員の確保とクラス人数体制を検討する。</p> <p>■<u>こまめな節約を心掛ける。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中期計画・長期計画を明確化する。 ・総合遊具の塗り替えと補修 ・園舎外壁塗装 ・支援センターの玩具買換え ○月間平均児童数 【目標】 108名 ・職員募集活動に参加し安定した職員確保をする。 ・職員全体に節約の意識を高める。

		<ul style="list-style-type: none"> ・登園・降園を iPad で入力することで延長料金を円滑に徴収する。 ・経営の振り返りを行う。
子どもと保護者（利用者）	<p>■<u>子育てのサポートセンターとして機能する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育参観、参加をして子育ての楽しさを知る支援をする。 ○絵本の読み聞かせを推進 ○家庭への食育啓蒙 ○保護者へのアンケート調査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆発達に遅れが見られる子を早期に保護者を含めて個別にサポートする。 ・保護者によってはわかりやすく具体的に伝える方法を共有し保護者も支援する。 ・行政や専門機関との連携を図る。 ・食育計画と食育だよりの充実。 ・保育の振り返りを行う。
職員（人材）	<p>■<u>職員のスキルアップと働きやすい職場づくりを目指す。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育士のキャリアパスの構築に向けて基本方針を示し研修計画の作成を見直す。 ○保育士の業務における ICT 化を推進する。 ○保育士確保により安定した就労時間とする。 ○人間性を高め、視野を広げて自ら学ぶ職場とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆園の組織表を確定し、園長、主任(各1名)副主任2名、専門リーダー6名、職務分野別リーダー(3名)とする。 ・各リーダーは新たな職務と研修に参加し後輩の指導に当たる。 ・人材確保計画に沿って合同就職説明会等に積極的に参加する。

事業所名称	ルンビニあゆみ園	定員	129名
サービス種別	幼保連携型認定こども園		
保育の特色・方針	<p>ルンビニあゆみ保育園は、「健やかな心」を育てるために、お釈迦様の教え、『仏教』を基本理念として保育します。</p> <p>園名の由来にもあるとおり、ルンビニ保育園同様、仏教保育をする保育園として創設されており、その保育目標を以下の3つとします</p> <p><生命尊重></p> <p>(1) めぐみの心を持ち、生命を尊重できる様に導く。</p> <p><修善></p> <p>(2) 善悪をみきわめ、絶えず正しい方に進む様に導く。</p> <p><協調></p> <p>(3) 自分の立場を考え、他と協調できる様に導く。</p> <p>個別対応の乳児保育担当保育をおこないます。</p> <p>遊びを通じ、子どもの主体性を育む保育をおこないます。</p>		
社会福祉への取り組み	<p>地域の子育て拠点として、園庭開放、子育て広場などおこないます。</p> <p>実習生、ボランティア、見学者の受け入れをします。</p>		

今年度の挑戦		
視点	重点施策（目的、方法）	指標（K P I）
利用者	<p>■保育の標準化</p> <p>○どの職員が関わっても同じ手順、同じ方法で子どもの生活に携わる。</p> <p>○子どもを中心においた保育を模索し、子どもの主体性を育む。</p>	<p>○施設内研修の内容に、保育のマニュアル化を織り込み、保育の言語化すすめる。</p> <p>○様々な遊びの環境を設定し、子どもの主体性を育む。</p>
財務	<p>■1号認定児の募集</p> <p>○1号認定児の入園につながるよう、地域への発信。子育て広場、園庭開放、チラシの回覧、設置などおこなっていく。HPの作成。</p>	<p>○4月当初入園児童数104名</p> <p>0歳児 6名 3歳児25名</p> <p>1歳児18名 4歳児22名</p> <p>2歳児18名 5歳児15名</p> <p>1号認定児は随時受け入れ中</p>
業務	<p>■個別対応と担当保育の確立</p> <p>○個別対応未経験の職員に対する指導の徹底。</p> <p>○施設内外の危険箇所の洗い出し。</p> <p>○保護者と地域への情報発信。</p> <p>■仏教保育について</p> <p>○保育部門合同で、仏教保育を周知する研修を。</p>	<p>○個別対応の理想的な在り方について見識を高める。</p> <p>○外的要因による子どもの怪我ゼロを目指す。</p> <p>○おたより等にて、あゆみ園の保育への理解を深める。</p>
人材	<p>■職員のスキルアップ</p> <p>○保育教諭のキャリアアップ研修や、各種外部研修に参加しやすい人員配置を計る。</p>	<p>○対象職員を研修に出られる機会をつくる。</p>

事業所名称	ルンビニ保育室 花びら	定員	12名
サービス種別	小規模保育事業所		
保育の特色・方針	<p>ルンビニ保育室『花びら』は、小規模保育事業所(A型)です。</p> <p>対象年齢は0.1.2.歳児。</p> <p>これらの特徴を最大限に活かし、完全個別対応の担当保育を行います。尚、保育理念、保育方針はルンビニ保育園・ルンビニ第二保育園の両園に準じます。</p>		
社会福祉への取り組み	<p>浅羽中央公園の利用、および自治会奉仕作業への参加。</p> <p>実習生、ボランティア、見学者の受け入れ。</p>		

今年度の挑戦												
視点	重点施策(目的、方法)	指標(KPI)										
利用者	<p>■個別対応</p> <p>○一人一人の家庭と育ちに寄り添い、個々にあった保育を提供します。</p> <p>○保護者の相談に乗り、助言と必要な援助を行う様務めます。</p>	<p>○生活リズムの違いを把握し、子ども達にとって無理のない施設生活を提供する。</p>										
財務	<p>■職員配置</p> <p>○室長 副主任 保育士4名(うち非常勤2名) 保育支援者1名 計7名</p>	<p>○4月当初</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>入園児童数</th> <th>目標人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0歳児 3名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>1歳児 5名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>2歳児 5名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>計 13名</td> <td>14名</td> </tr> </tbody> </table>	入園児童数	目標人数	0歳児 3名	4名	1歳児 5名	5名	2歳児 5名	5名	計 13名	14名
入園児童数	目標人数											
0歳児 3名	4名											
1歳児 5名	5名											
2歳児 5名	5名											
計 13名	14名											
業務	<p>■個別対応と担当保育の確立</p> <p>○正規職員は本園(ルンビニ保育園)との異動者あり。指導及び、マニュアルの徹底。</p> <p>○保護者と地域への情報発信。</p>	<p>○個別対応の理想的な在り方について見識を高める。</p> <p>○おたよりにて、花びらの保育への理解を深める。公園での交流。地域の奉仕作業に参加。</p>										
人材	<p>■職員のスキルアップ</p> <p>○保育士のキャリアアップ研修や、各種外部研修に参加しやすい人員配置を計ります。</p>	<p>○ルンビニ保育園との連携体制を確立し、研修に出られる機会をつくる。</p>										